

科目ナンバー	SEM-3-003-ky			科目名	課題演習Ⅰ（篠原）		
教員名	篠原 美登里			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	課題演習で研究した各自のテーマをもとにさらに発展的な研究を行い、定期的にゼミで報告・議論することで深めてゆく。そして、その成果を卒業論文にまとめる。						
到達目標	各自の研究テーマについて継続して考える姿勢を身につける。それによりさらに深い認識を得、それを日の現実に生かしてゆく。加えて基礎的な学術論文を作成できるようにする。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	自己を理解する力 ○			伝え合う力 ○		分析し、思考する力 ○	
共生のための態度	自己を抑制する力			協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	主体性 ○			関係を構築する力 ○		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	演習。講義、発表、議論、論文作成。適宜個別に研究指導を行う。学生は、各回の活動を行うために必要な準備（調査、発表のための資料・原稿の作成、発表の議論の議題の検討・決定ほか）をして授業に臨む。授業中の議論には積極的に参加することが期待される。また、授業内外で学んだことを記録として残し、卒業論文作成に生かす。課題のフィードバックは、授業内外において、クラス全体および個人に対し、口頭またはコメントシートにて行う。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	課題演習Ⅰ、Ⅱ（篠原）を履修済みであること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	（1）卒業論文の学術論文としての完成度（内容および形式）50％ ※論文の長さは日本語の場合20,000字程度以上、英語の場合A4用紙ダブルスペースで30枚程度以上。（2）授業中の活躍（発言・発表など）50％ 本講座の到達目標とする知識および能力がどの程度身に付いているかを評価する。						
教材	各人の研究テーマに合ったものほか適宜配布する。						
参考図書	・高橋順一ほか「人間科学研究法ハンドブック」ナカニシヤ出版・田中典子「はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する」春風社・末田清子ほか「コミュニケーション研究法」ナカニシヤ出版・小笠原喜康「新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書・佐藤望ほか「アカデミックスキルズ第2版」慶応義塾大学出版会・田中幸夫「卒論執筆のためのWord活用術」講談社・白井利明・高橋一郎「よくわかる卒論の書き方」ミネルヴァ書房・澤田昭夫「論文の書き方」講談社学術文庫・石井一成「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」ナツメ社ほか適宜紹介する。						
内容・スケジュール	4月：卒業研究の概要と研究の進め方 5月：研究テーマの設定と論文の書き方（※復習）6月～9月：資料およびデータの収集 7月：中間発表 10月～12月：論文執筆 1月：発表・論文提出						

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I		
Name	篠原 美登里 (Shinohara Midori)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	Based on the themes students individually researched in "Junior Specialty Seminar I" and "Junior Specialty Seminar II", they will deepen their knowledge by performing even further developed research, having periodic reports and discussions in the seminar. Then, students will summarize their own results in their graduation theses.				